

# 岩西小学校の ESD 活動

## <活動の概要>

- ・総合的な学習の時間を「i 学習」と呼び、次の2つを目的として、ESDの視点で実践を行っている。目的①さまざまな活動や体験を通して、自分と地域・人・自然とのかかわりに関心を持ち、自ら考え、判断し、行動する力を育てる。②各教科で身につけた学び方やものの考え方を使って、問題解決にすすんで取り組む態度を育て、自己形成に向けての見方・考え方を養う。
- ・「温かい町 岩西」「住みやすい町 岩西」「美しい町 岩西」の3つの領域を柱として、①地域に係わる活動、②福祉に係わる教育、③自分自身に係わる学習、④国際理解に係わる学習を行っている。

## ・活動の実際

### ① 地域に係わる活動（3年生）

3年生の i 学習では「岩西よいとこ大作戦！」として、自分たちの住んでいる岩西校区のすてきなところや人、もの、自然について調べ、岩西校区を好きになり、そこに生きる自分自身も大切にしていこうとする心を育ててきた。地域の方へのインタビューを繰り返すことで、地域の方がどのような気持ちで活動しているのかを知ることができた。地域の方々に支えられ、安全に生活できることを知り、自分たちにもできることを実践したいという気持ちをもった。そこで、「岩西よいとこ大作戦」を開始した。9つのグループに分かれて自分たちができることを行った。あいさつグループでは、キャンペーンを企画して、まずはあいさつで3年生を明るい学年にしようと取り組んだ。さらに自分たちだけでなく、学校をあいさつでいっぱいになりたいという思いから、ポスターを作成して校内に掲示するなど、学校のために自分たちができることを考えて、主体的に活動する姿が見られた。



### ② 地域や福祉に係わる活動（4年生）

4年生の i 学習では「笑顔の花が(E) すてきに咲くまち(S) どんなまち(D)」として、社会科でのごみや水の学習をきっかけにし、2学期にはそれらを深めていく活動を行った。社会科での学習を振り返りながら、地域や国際的な問題についても学ぶことができた。また、ポスターを校内に作って呼びかけをしたり、インタビューをしたりと自分たちにできることを考えて行動にうつすなど、主体的に取り組むことができた。しかし、自分たちの力だけでは解決することが不十分だということに気づき、「岩西学習発表会」で学んだことを発表した。また学習した内容を、より深く考えるために、図工で「とよはしSDGsデザインコンテスト」や「530のまちとよはしポスターコンクール」に取り組んだ。

他にも隣接する特別支援学校との交流を実施した。子どもたちは、どんな学校なのか知らないなので、まず見学させてもらった。障害がありながらも、自分たちと同じように学校生活している姿を見て、仲よくなりたいという思いをもった。そこで、特別支援学校の子と仲よくなるための「iプロジェクト」を実施することにした。自分のペアの子は、何が好きなのか、どんなことなら楽しめるのかを友達と何度も話し合い、仲よくなるための遊びを決めた。交流の当日は、支援学校の子に積極的に声をかけ、生き生きと活動した。

ごみや水、福祉の学習を通して、子どもたちは「みんなが笑顔で住み続けられるまち」であってほしいという願いをもつことができた。

